

PRESS RELEASE

味の素株式会社 グローバルコミュニケーション部
〒104-8315 東京都中央区京橋1-15-1

2022年12月14日

味の素(株)、三菱UFJ銀行とサステナビリティ・リンク・ローンによる契約を締結 ～サステナブルファイナンスによる資金調達枠を一層拡大～

味の素株式会社(社長:藤江 太郎 本社:東京都中央区)は、株式会社三菱UFJ銀行(頭取:半沢 淳一、以下三菱UFJ銀行)との間で、2022年12月14日(予定)に「サステナビリティ・リンク・ローン」によるコミットメントライン契約^{※1}を締結する運びとなりました。

本契約はシンジケーション方式となり、三菱UFJ銀行がアレンジャーとなって、複数の金融機関による協調融資団(シンジケート団)を組成し、当社への融資を実施するものです。

サステナビリティ・リンク・ローンはサステナブルファイナンスの1つで、サステナビリティ・リンク・ローン原則^{※2}に基づく評価フレームワークを基に設定された融資条件と、当社のサステナビリティ戦略に沿った目標達成度を連動させるものです。

当社グループは2020-2025中期経営計画において、2030年の目指す姿として掲げた「食と健康の課題解決」の実現に向けてあらゆる経営資源を集中することを基本方針としました。この方針に則り、当社グループを取り巻く経営環境を認識した上で、その変化に対応し社会的課題の解決に取り組むことが企業価値の向上に資するものと捉えており、その一環として、短中長期の価値創造能力に実質的な影響を及ぼすマテリアリティ(重要課題)を特定し、機会・リスクを明確にした上で事業活動を展開しています。

今回の契約は、これらマテリアリティの中でも当社グループが掲げる2つのアウトカムのうちの1つ「環境負荷の50%削減」に特に関係の深い「気候変動への適応とその緩和」への取り組みである温室効果ガス排出量削減に対して、当社グループが設定した目標値が「野心的」^{※3}であると確認・評価されたため、締結に至りました。

なお、本契約に際し、株式会社日本格付研究所(JCR)から第三者意見書を取得しています。

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

本件は、2021年10月発行のSDGs債、2022年1月取り組みのポジティブ・インパクト・ファイナンスに続く、当社のサステナブルファイナンス活用事例の第三弾となります。

今後もサステナブルファイナンスのスキーム活用により、ファイナンス分野においても持続可能な社会の実現に向けた取り組みをより一層加速させていきます。

当社グループは、「食と健康」のプロフェッショナルとして、事業活動を通じて当社ならではの価値を創造し続けることを目指し、社会課題の解決に取り組みます。

本契約の概要

契約締結日	2022年12月14日
アレンジャー	三菱UFJ銀行
参加金融機関	金融機関5行
金額	1,000億円
契約期間	3年間

サステナビリティ・リンク・ローンにおける当社グループ設定目標

Scope1及びScope2の2030年度におけるGHG排出量50%削減(基準年度：2018年度)を目標として設定しています。各年度目標は下表の通りです。

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	実績	実績	実績	実績	実績	目標	目標
Scope1とScope2におけるGHG合計排出量(千t-CO ₂ e)	2,317	2,213	1,974	1,911	1,612	1,556	1,500
Scope1とScope2におけるGHG排出量削減率(%) (基準年度:2018年度)	—	—	11%	14%	27%	30%	32%
	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
	目標						
Scope1とScope2におけるGHG合計排出量(千t-CO ₂ e)	1,443	1,387	1,331	1,275	1,218	1,162	1,106
Scope1とScope2におけるGHG排出量削減率(%) (基準年度:2018年度)	35%	37%	40%	42%	45%	47%	50%

※1)コミットメントラインとは、会社と金融機関が予め設定した枠の範囲内で、会社の請求に基づき金融機関が融資することを確約(コミット)する借入枠です。

※2)サステナビリティ・リンク・ローン原則は、サステナビリティ・リンク・ローン商品の開発を促進し、誠実性を維持するため、シンジケートローン市場で活動している主要な金融機関の代表から構成される作業部会によって2019年に策定されました。当該原則は、ローン・マーケット・アソシエーション (LMA)、アジア太平洋ローン・マーケット・アソシエーション (APLMA)、ローン・シンジケーション&トレーディング・アソシエーション (LSTA) が発行元となっています。

※3)「野心的な目標」とは、従来通りの事業を継続していなければ達成できない、当社グループのサステナビリティ戦略と整合した目標を指しています。

参考

2020年12月15日付プレスリリース

味の素グループ、マレーシアでグループ初となるESGファイナンスの契約締結

<https://news.ajinomoto.co.jp/2020/12/20201215.html>

2021年9月28日付プレスリリース

味の素㈱、グループ初となるSDGs債を発行

<https://news.ajinomoto.co.jp/2021/09/20210928-02.html>

2021年10月15日付適時開示資料

サステナビリティボンド発行条件決定に関するお知らせ

https://news.ajinomoto.co.jp/2025/03/2021_10_15.pdf

2022年1月28日付プレスリリース

味の素㈱、みずほ銀行とポジティブ・インパクト・ファイナンスによる契約を締結

<https://news.ajinomoto.co.jp/2022/01/20220128.html>

味の素グループは、“アミノ酸のはたらき”で食習慣や高齢化に伴う課題を解決し、人々のウェルネスを共創する、食と健康の課題解決企業を目指しています。

私たちは、“Eat Well, Live Well.”をコーポレートメッセージに、アミノ酸が持つ可能性を科学的に追求し、事業を通じて地域や社会とともに新しい価値を創出することで、さらなる成長を実現してまいります。

味の素グループの2021年度の売上高は1兆1,493億円。世界36の国・地域を拠点に置き、商品を販売している国・地域は130以上にのぼります(2022年現在)。詳しくは、www.ajinomoto.co.jpをご覧ください。

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先:Pr_media